

はじめに

ロチェスターの気候は、11 月になり曇りの日が長く続くような冬の天候に変わりつつあります。去年の今頃は、雪が降っていたようですが今のところまとまった雪はまだ降っていません。

今月の報告書は、主に学校生活について記します。

## 1. 寮生活

RIT の寮施設は、大きく分けて学内と学外の二つがあります。前者は、キャンパス内に位置する 14 つのレジデンスホールとグローバルビレッジです。グローバルビレッジは、一昨年完成したばかりの新しい建物でレジデンスホールと名前は異なりますが単に寮です。後者は、RIT インという学校の経営するキャンパスからバスで十数分ほど離れた場所にあるホテルです。そこには、一般の宿泊客と一緒に RIT の学生も寮として滞在しています。また、その他の選択肢として、キャンパスの周辺にユニバーシティコロニー、プロビンス、パークポイントと呼ばれるアパートもあります。しかし、これらは、RIT が取りまとめるものではないため交換留学の寮費免除としてそこで暮らすことはできません。私は、夏学期はレジデンスホールに、今学期は RIT インで生活を送っています。夏学期と今学期の生活からレジデンスホールと RIT インを比較するとキャンパス内で生活できるレジデンスホールの方が楽な生活を過ごせると思います。ホテル生活と言われると一見快適な生活のように聞こえます。実際、レジデンスホールより快適なベッドもありますが、毎日バスで通学する必要があるため、この一点だけがネックです。



レジデンスホール

(<http://www.rit.edu/fa/housing/housing-options/residence-hall>)



RIT イン

## 2. 食生活

RIT の多くの学生は、学内のレストランでご飯を食べています。キャンパス内には、5 つの食堂と 4 つのカフェがあり、RIT インにも 1 つレストランがあります。いずれの食堂も昼食時になると混雑しますが、KIT のように席が見つけられないほどではありません。また、テイクアウトもできるのでこれもそこまで混雑しない理由だと思います。

料理について、アメリカに来て初めて食堂で食事をしたときに驚いたことは、味よりその量でした。サンドウィッチを例にするとその大きさは、サブウェイ (Subway, 日本にもあるサンドウィッチのチェーン店) の倍以上の大きさくらいあると思います。すべての料理が日本のものと比較して大きいわけではありませんが、いくつかは、アメリカンなサイズを感じます。

さいごに

11月のサンクスギビング休みも終わり、いよいよ学期を2週間残すところとなりました。これから、期末に向けての最終プロジェクトや期末テストなどを徐々に忙しくなりつつあります。また、交換留学のプロジェクトとしてもあと2か月となりました。最後まで、ELCでの学習やそれ以外の遊びなどやり残すことのないように毎日を大切にしたいと思います。